

第949回

定例教育委員会会議録

日 時 令和7年10月27日（月） 15:00～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第949回 教育委員会定例会

招集年月日 令和7年10月27日（月） 15：00～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

報第31号 高津学校給食センター学校給食調理業務事業者の選定結果について

第4 その他

(1) 情報提供

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	藤 本 美 香
教育総務課参事	加 田 睦 志
学校教育課長	田 原 正 紀
学校教育課参事	杉 原 貴 宏
ひとづくり推進課長補佐	澄 川 博
文化振興課長	田 中 一 史
美都分室長	澄 川 武 寿
教育総務課長補佐	植 田 拓 也
教育総務課副主任主事	三 浦 菜々子

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第949回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

領家教育長 前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長 9月26日金曜日から本日10月27日月曜日までの私の大まかな日程が記載されております。その中で、皆様方には今回3点ほど説明をさせていただこうと思います。

1点目は、10月13日月曜日、3連休の最後の日です。益田市立歴史文化交流館れきしーなで日本遺産フォトコンテスト表彰式に臨んでまいりました。日本遺産、益田の中世益田を皆さんに広めていただこうということで、教育委員会が主催でフォトコンテストを実施させていただきました。応募数130点、部門も中世日本遺産があります益田地区、それから吉田地区、それ以外の広域地域ということで、3つの部門にそれぞれ合計で130点応募がございました。今回、その中で大賞を取られた作品が1点、最優秀賞が3点、入賞が3点、3つの部門でそれぞれです。それから、高校生以下を対象にした金のたまご賞を3点、合計10点、1作品は同一の方が2つ受賞されましたので、10作品の9名の方に表彰させていただきました。

大賞は、萬福寺の本堂がライトアップされて荘厳な雰囲気を持つ写真でございました。これにつきましては、受賞者の方にお話を伺いましたところ、「昨年開催された全国山城サミットの前日に萬福寺がライトアップされていた。その荘厳さをぜひいろんな人に知ってほしいと思ってシャッターに納めた作品がたまたま今回こうしたフォトコンテストがあって発表する機会が持てた。益田にもすてきな町があるんだというところをこのコンテストを通じてぜひ日本全国の皆さんに発信してほしいので、SNS等も使って発信してほしい」というお話をいただきました。

それから、金のたまご賞の3つの作品についてご紹介をします。受賞された方は小学1年生の男の子が1人、それから高等学校の写真部の方が2名です。その小学1年生の男の子の作品

は、妹と一緒に益田のお寺に行ったときの、妹を撮っている写真の一コマがありました。子どもさんも一緒になって日本遺産を盛り上げていただいていることと、それから心に残ったのは表彰式で自分の愛用のカメラを首にかけて、うれしそうにしている姿が、まさに金の卵だなと感じました。高校生の作品は、神社の手水舎の水しぶき、水滴がすごくきれいに撮れている写真と、鳥居をバックにして日を浴びてそれを撮っている高校生の写真がありました。日本遺産についてこういう紹介の仕方があるということも含めて感じさせていただきましたので、皆さんにご紹介させていただきました。

それから、2点目は、10月20日、東仙道小学校で行われた味覚の1週間の授業の様子です。昨年度の報告でもお話をさせていただきましたが、今年度も味覚の1週間として、島根県の方々と取り組んでくださっています。益田市にも紹介がありましたところ、小学校15校のうち13校の小学校が実際に授業するということでした。この東仙道小学校での取組は今年度第1回目ということで、齋藤課長と一緒に邪魔させていただきました。塩味、酸味、それから苦味、甘み、うまみという5味のところを、地元産の、益田産で言えば酸味に美都のユズ、それから甘みに空港はちみつを利用させていただきながら、塩味は浜田産の粗塩、苦みは松江の抹茶の本舗が作っておられる抹茶寒天、それからうまみは、益田の和食料理屋さんのだしのスープ、この5味をそれぞれ子どもたちと味わいながら、苦い顔をしたり、甘い喜びを知ったりしながら、味ってすごいなということを感じていました。あわせて、最後に味変ということで、うまみの和風だしに浜田産の粗塩を入れると全くまた違う味がすること、それからもう一つ実験として、益田産の神紅のブドウの干しブドウが半分ぱくっといったって、それを口の中で5回噛みます。ただ5回噛んだときの味と、それから鼻をつまんで5回噛み、その後鼻をぽっと離すと、口いっぱい神紅の甘さというか、そんな香ばしさが広がる実験もしながら、味覚ってすごいねとか、これを作る料理人さんの姿とか、空港はちみつの生産者の方も来てくださっていたので、料理人さんに味を提供する元の生産者さんの思いとか、たくさんの方が感じられる味覚の1週間の取組だと思っています。益田の料理人関係の人たちが来年はぜひ15校でやりたいから応援してくださいというようなことも併せてお話をいただいたところでございます。これが2点目です。

3点目は、10月21日にグラントワで開催されましたドリカム講演会、松丸亮吾さんの講演会に出かけてきましたので、ご報告をさせていただきます。原田委員もお母さんとして子どもさんたちと一緒に聞いてくださいましたが、今年度は松丸亮吾さんが来てくれたおかげかもしれません、350人を超える参加者に対して、会場がグラントワの小ホールでしたので、もうほぼほぼ満席のような好評の講演会となりました。これは例のドリカム教室をやっていますので、その連携事業の一環ですが、今回僕が一番すごいなと思ったのは、松丸さんの講演が、あのとき益田市対話を大事にしていると思いますが、質問とその応答というのが本当に対話になっていることがたくさんあったことを感じました。彼はこれについて意見がありますかとか質問がありますかって手を挙げると、ステージからずっとその席まで降りて、自分のインタビューで聞いてその場で答える、その繰り返しがあったので、子どもたちも、それから参加された一般の方もどんどん聞いてみたいという気持ちがあふれているような感じがしました。すてきな対話の場ができたこと、それから松丸さんの講演自体も〇・×クイズを使って学ぶこと、それから勉強する意味の価値づけとか、勉強に対する向き合い方を自分なりの経験を通じながら自分なりの思いを伝えてくださいました。それが本当にそのまま小学生は小学生なりに、中学生は中学生なりに、高校生は高校生なりに、自分の何かもやもやとか疑問とフィットしたことをちょうど本当にこういった感じで答えてくださった、大人にはできない、斜めの関係だからこそ味わえるすてきな講演会でした。こんなドリカム教室の講演であれば、どんどん市内の子どもたちに、あるいは一般の方々に聞いてほしいと思った時間となりました。

この1か月間の教育長報告の中で心に残った3つの場面についてご報告をさせていただきます。

続きまして、10月にいただきました寄附・寄贈についてご紹介をさせていただきます。4件ございました。そこで、1点目の一番上は、明誠高等学校が昨年度1月にサッカーの全国大会に出場されまして、そのときにたくさんお金が集まったので、何か記念として益田市に残したいということで、運動公園に向けて屋外用のテントを頂きました。

それから、併せまして市内の松倉さんという方が益田市の図書館に図書を寄贈してくださいました。

それから、9月に行われました岩本薫記念益田杯につきまし

ては、多くの企業の方、個人の方、あるいはふるさと納税を通じてご支援を金一封という形でご支援をいただきましたので、併せて報告させていただきます。

4点目にあります3Dスキャンデータにつきましては、この後文化振興課から詳しくご説明をさせていただきます。以上4件が10月にいただいた寄贈・寄附でございます。私の活動の報告、それから寄附・寄贈につきましては以上となりますが、そのことについてより詳しくお聞きになりたい点等ありましたらお答えいたしますが、いかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

教育委員

=全員了承=

第3 議題

報第31号

高津学校給食センター学校給食調理業務事業者の選定結果について

領家教育長

それでは、続きまして議事日程第3議題に移らせていただきます。

本日の会議ですが、報告案件が1件となります。それでは、報第30号高津学校給食センター学校給食調理業務事業者の選定結果について事務局より説明を求めます。

植田補佐

それでは、高津学校給食センター学校給食調理業務事業者の選定結果について説明をさせていただきます。高津学校給食センターは、平成28年から稼働しておりまして、平成28年度から令和2年度の5年間、また令和3年度から令和7年度という期間、合計10年間、これまで調理業務を益田クッキングフーズに委託をしております。今年度で委託期間が終了するということですので、改めて今後5年間の調理業務について公募型のプロポーザル方式による入札を実施いたしまして、引き続き益田クッキングフーズに調理委託をお願いすることとなりましたので、その旨報告をいたします。内容につきまして、2というところがございます。業務内容といたしましては、学校給食調理業務、また施設維持管理業務というところがございます。調理食数でございますけれども、1日当たり教職員、児童・生徒合わせて3,500食を提供していく予定です。年間業務従事日数は210日になります。受配校は小学校の12校、中学校6校、合計の18校でございます。調理食といたしまして、主食、副食、卵アレルギー対応食の調理を従

来どおり行っていただくというところがございます。業務期間が令和8年4月から令和13年3月31日までの5年間でございます。

続きまして、高津学校給食センター学校給食調理業務事業者選定委員会の状況でございます。入札に際しまして応募されたのは、益田クッキングフーズ1社でございます。入札に際して選定委員会を開催いたしまして、有識者4名、内部委員2名の合計6名の委員で評価をいただきました。開催状況につきましては、8月19日、また10月10日の2回開催をしております。2回目の10月10日には応募者にプレゼンテーションを行っていただきまして審査を行っております。選定条件といたしましては、プレゼンテーション及びヒアリング審査の評価点が70点満点ですが、6割以上の42点以上であること、また衛生管理に関する考え方というところで、D、Eの評価がないことというところで審査を行っていただきました。点数が100点満点の86.615点という点数になっております。ここの内訳ですけれども、①プレゼンテーション及びヒアリング審査得点、42点以上であることということになっております。こちらが70点満点の56.615点というところがございます。そこに価格審査点30点を加えた86.615点となっているところがございます。委員の評価といたしまして、特に学校行事に応じた柔軟な対応や、地産地消についてのところ、また食品衛生管理に対する取組姿勢について評価をされているところがございます。委託金額についてです。1年間で1億5,243万7,120円、こちらは税込みですけれども、現在よりも約724万円の増額になります。主な増額の理由は、この5年間のところ人件費が増えてきているというところがございます。報告は以上となります。

領家教育長

それでは、ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。いかがでしょうか。

齋藤委員

応募は何社ありましたか。

植田補佐

益田クッキングフーズさんの1社です。

齋藤委員

今までもこの会社ですか。

植田補佐

平成28年からはずっと1社で行っているところでございます。

領家教育長

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。それでは、この件につきましてはよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

それでは、本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。

これをもちまして第949回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

=終了時間 15時30分=